

開催日時：2004年2月23日（月） 10:00～12:00

場 所：ぱ・る・るプラザ京都 6階 会議室3

参加者数：運営会議委員8名（委員長、琵琶湖部会長、淀川部会長、猪名川部会長、環境・利用部会長、治水部会長、利水部会長、住民参加部会長）、河川管理者3名

1 検討内容および決定事項

① 今後の進め方

- ・以下の予定が河川管理者より示され、確認した。
 - ・「基礎原案」に対する、委員会の意見書、住民意見、自治体意見をふまえ、4月頃を目標に「基礎案」を作成する。
 - ・「基礎案」作成後に、委員会に対して、新しい活動（「計画の進捗チェック、見直し」および「2005年2月以降の委員会の枠組みに関する検討」）に関する要請を出したい。「基礎案」作成が遅れる場合には、多少前後する可能性もある。
- ・2/26委員会以降の委員会は、「基礎案」が作成された段階（5月頃）での開催を想定する。

② 第28回委員会（2/26）の議事

- ・議題および進行について確認した。主な議題は河川管理者からの質問に対する回答とし、1回答ずつ、質問と回答を委員から説明、確認した後、河川管理者に提示する。その他、今後の進め方の確認、河川管理者からの対話集会に関する報告を予定する。

③ 河川管理者からの質問に対する回答

- ・回答案040217版に対して寄せられた意見への対応について検討した（回答案は修正しないこととなった）。

④ 一般との意見交換会「しっかりしてや！！流域委員会」（2/28）の状況報告

- ・企画検討メンバー（委員有志）にて検討された計画概要および進行状況が報告された。

⑤ 一般意見対応冊子「提言から意見書提出までに寄せられたご意見と流域委員会の考え方」

- ・冊子の作成状況と今後の予定が報告、確認され、内容について「提言時に作成した同様の冊子『頂いたご意見と淀川水系流域委員会の議論と考え方』との関係を記述してはどうか」「意見番号に関する説明を改善した方がよい」等の意見が出された。

⑥ パンフレット

- ・作成状況と今後の予定が報告、確認され、内容について、「流れを示す図に中間とりまとめ、説明資料第1稿、第2稿を加え、緊密なやりとりが行われたことが分かるようにする」「『淀川モデル』という言葉をもう少し前面に出してアピールしてはどうか」等の意見が出された。
- ・2/29までに運営会議メンバーから意見提出頂き、それをもとに委員長一任で内容を確定する。

⑦ その他

- ・河川管理者が行った対話集会の総括や今後に関する検討を目的として、対話集会のファシリテーターと流域委員会委員との意見交換の会を開催する方向で日程も含めてファシリテーターにお伺いする（日程は5月上旬の土日のいずれかを想定）。併せて、河川管理者に、全国で行われている住民参加事例のとりまとめ的な資料があれば教えて頂きたい旨お願いした。
- ・淀川に関するガイドブック的な書籍の出版が計画されている件について、流域委員会の組織としては関与しないが、委員が個人として関与することは妨げない、とする方針が確認された。
- ・琵琶湖部会長より、2/22に淀川水系流域委員会と淡海の川づくり検討委員会（滋賀県が設置）の委員有志が参加した懇談会（琵琶湖・淀川の河川整備計画に関する懇談会。国土交通省近畿地方整備局が開催）が行われた旨が報告された。

以上

※このお知らせは委員の皆様には主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。